

令和8年産 果樹病害虫防除暦・施肥例

無登録(登録外使用)農業
海草振興局農林水産振興部
農業水産振興課監修
令和7年12月現在

温州みかん・かんきつ類

みかんとかんきつ類は登録内容が異なる場合があるので注意!!

防除時期	対象病害虫	防除薬剤名	使用倍数	使用基準	備考
				みかん かんきつ	
3月中下旬	ミカンハダニ カイガラムシ類幼虫	ハイペストオイル アプロード水和剤	60~80倍 1,000倍	3月/— 14/3 45/3	発芽前に散布する。 ミカンハダニを対象とする場合は80倍 中晩柑類は収穫後に散布する。
4月	そうか病	デランフロアブル	1,000倍	30/3	シャクリムシ類・ケシキイヌ類 発生園では、ロディー乳剤2,000倍 (7/4)を散布する。
満開期～落弁期	灰色かび病 黒点病 コアオハナムグリ アブラムシ類	ナティーポフロアブル モスピラン顆粒水溶剤	1,500倍 3,000倍	前日/3 14/3	昨年カイガラムシ類が発生した園地では、モベントフロアブル2,000倍(7/3)を加用する。 モスピラン顆粒水溶剤に替えてエクシルSE5,000倍(前日/3)を散布してもよい。
6月上中旬	黒点病 ミカンハダニ ゴマダラカミキリ・アザミウマ類	ジマンダイセン水和剤 ハイペストオイル アドマイヤーフロアブル	600倍 200倍 4,000倍 3,000倍	30/4 90/2 —/— 前日/1 14/3	※ジマンダイセン水和剤またはベンコゼブ水和剤の代わりにエムダイマー水和剤600~800倍みかん(60/2)かんきつ(90/2)でもよい。(エムダイマー水和剤は令和8年10月登録失効)
7月上旬	黒点病 チャノホコリダニ ミカンサビダニ ゴマダラカミキリ	ジマンダイセン水和剤 ベンコゼブ水和剤 グレーシアフロアブル	600倍 600倍 4,000倍	30/4 90/4 7/2	カイガラムシ類発生園では、トランシスフォームフロアブル2,000倍(前日/3回)を散布する。※ミカンハダニ類多発園では、グレーシアフロアブルに替えてメビウスフロアブル3,000倍みかん(7/2)かんきつ(14/2)とダントツ水溶剤2,000倍(前日/3回)を散布する。
8月上旬	黒点病 アザミウマ類・チャノホコリダニ・ミカンハモグリガ・サビダニ	ジマンダイセン水和剤 ベンコゼブ水和剤 アグリメック	600倍 600倍 2,000倍	30/4 90/4 7/3	
8月中旬	黒点病 ミカンハダニ ミカンサビダニ アザミウマ類	ジマンダイセン水和剤 ハイペストオフロアブル ダニゲッターフロアブル ダントツ水溶剤	600倍 1,500倍 2,000倍 2,000倍	30/4 90/4 前日/3 前日/3 前日/3	※9月出荷の品種については、ナティーポフロアブル1,500倍を散布する。 ※発生初期に防除を行う。
9月以降	黒点病 カメムシ類	ナティーポフロアブル スタークリーク	1,500倍 2,000倍	前日/3 前日/3	※降雨状況により散布する。 ※発生に応じて散布する。
収穫前	貯蔵病害	ベンレート水和剤 トッブジンM水和剤	4,000倍 2,000倍	前日/4 前日/2 前日/5	※収穫前に必ず散布する。 トップジンM水和剤、またはベンレート水和剤にペルクート水和剤2,000倍(みかん:前日/3回かんきつ:前日/2回)を加用することで効果が上がる。
果皮障害対策	防除薬剤に加用	バイカルテイ	1,000倍	—/3	7月～収穫までの防除薬剤に加用する。各月1回、3回以上

特殊防除

防除時期	対象病害虫	防除薬剤名	葉量と散布量	使用基準	備考
発芽前	かいよう病	ムッシュボルドーDF	500倍	—/—	
新梢伸長期	かいよう病	クプロシールド	1,000倍	—/—	葉害軽減対策としてクレフノン200倍を加用する。
入梅期	かいよう病	I C ボルドー 66D アビオンE 加用	80倍 1,000倍	—/— —/—	ICボルドー66Dに変えてムッシュボルドーDF1,000倍を散布してもよい。 ただし、クレフノン200倍を加用する。
台風襲来前	かいよう病	クプロシールド	1,000倍	—/—	クレフノン200倍を加用する。
発芽直後	そうちか病	デランフロアブル	1,000倍	30/3	
8月～9月	黒点病(後期感染型)	ナティーポフロアブル	1,500倍	前日/3	
発生前	褐色腐敗病	ランマンフロアブル レーバスフロアブル	2,000倍 2,000倍	前日/3 前日/3	
5月下旬～	カイガラムシ類	モベントフロアブル	2,000倍	7/3	
発生時	ハマキムシ類 ヨモギエダシャク	エクシールS E	5,000倍	前日/3	
	ミカンハダニ	ダニコングフロアブル	4,000倍	前日/1	
	ミカンハダニ	ダニサラバフロアブル	2,000倍	前日/2	
	ミカンハダニ	オマイト水和剤	750倍	7/2 14/2	※10月中旬以降で使用する。
	ミカンハダニ	メビウスフロアブル	3,000倍	7/2 14/2	
	ミカンハダニ・ミカンサビダニ	サンマイト水和剤	3,000倍	3/2	
7月中下旬 (株元散布)	ゴマダラカミキリ	アクセルフロアブル	200倍	7/3	
	ゴマダラカミキリ	モスピラン顆粒水溶剤	200~400倍	14/3	
発生時	アザミウマ類・ミカンサビダニ	コテツフロアブル	4,000倍	前日/2	
	アザミウマ類	ディアナWDG	10,000倍	前日/2	

施肥設計

極早生温州	施肥時期			10a当り成分量(kg)			
	N	P	K				
1~3月	3月上旬	10月上旬		14.4	12.6	12.6	
土壤改良 苦土入りセルカ2号 200kg	ニューわかやま味ーブリケット (8-7-7) または わかやま配合 (8-5-6)	80kg	ニューわかやま味ーブリケット (8-7-7) または わかやま配合 (8-5-6)	120kg	16.0	10.0	12.0
1~3月	3月上旬	10月下旬		20.8	18.2	18.2	
土壤改良 苦土入りセルカ2号 200kg	ニューわかやま味ーブリケット (8-7-7) または わかやま配合 (8-5-6)	120kg	ニューわかやま味ーブリケット (8-7-7) または わかやま配合 (8-5-6)	150kg	21.6	13.5	16.2

◎土壤改良は毎年励行しよう。

※土壤改良として、完熟堆肥2,000kg、または、新ふりかけ堆肥eco200kgを施用、微量要素補給に10a当りJFTE2kg・BMヨーリン60kg



◎農薬の使用基準は変更になる場合があるので注意しましょう。

◎農薬使用基準を守り、適期適正防除を行いましょう。

柿

富有柿は人工授粉を徹底!

防除時期	対象病害虫名	防除薬剤名	使用倍数	使用基準	備考
12月～3月	各種病害虫	粗皮削り及び落葉処理	—	—/—	特に、フジコナカイガラムシ・カキノヘタムシガ・コスカシバ及び落葉病対策として、完全に実施する。
萌芽直前 (3月下旬)	カイガラムシ類	アプロード水和剤 アビオン-E	1,000倍 1,000倍	45/2 —/—	※開花期までに散布を行う。
展葉期 (4月中旬)	ケムシ類	フェニックスフロアブル	4,000倍	7/2	展葉初期にケムシ類発生園では、フェニックスフロアブルに替えてオリオン水和剤40~1,000倍(21/1)を散布する。
開花初期 (5月上旬)	落葉病・炭そ病	ジマンダイセン水和剤 ベンコゼブ水和剤 オルトラン水和剤	600倍 2,000倍 1,500倍	45/2 45/2 前日/1	灰色カビ病多発園では、ベンコゼブ水和剤またはジマンダイセン水和剤に替えてフルーツセイバー1,500倍(前日/3)を散布する。 夏果実隣接園では薬剤が飛散しないよう注意する。
5月下旬～6月上旬	うどんこ病・落葉病・炭そ病・灰色カビ病 アザミウマ類	オンリーワンフロアブル キラップフロアブル	2,000倍 2,000倍	前日/3 7/2	果実黒変果軽減のため、バイカルティ1,000倍を混用散布する。 カンザワハダニ多発園では、キラップフロアブルに替えてコヅエフロアブル2,000倍(14/2)を散布する。(着色期は除く)
6月中下旬	落葉病・炭そ病	キノンドー顆粒水和剤 コルト顆粒水和剤	1,000倍 2,000倍	14/5 前日/3	果実黒変果軽減のため、バイカルティ1,000倍を混用散布する。
7月上旬	落葉病・炭そ病	ジマンダイセン水和剤 ベンコゼブ水和剤	600倍	45/2	収穫前日数を厳守する(45日前) ジマンダイセン水和剤またはベンコゼブ水和剤に替えてエムダイマー水和剤600倍(45/2)を散布してよい。 ※エムダイマー水和剤は令和8年10月登録失効
7月下旬～8月上旬	うどんこ病・落葉病・炭そ病	スコア顆粒水和剤	3,000倍	前日/3	キックオフ顆粒水和剤はジノテフラン(スターカーク)ヒドロラントラニブロール(サムコル)が含まれている為、総使用回数に注意する。
8月下旬～9月上旬	うどんこ病・炭そ病 アザミウマ類・カムシ類 カキノヘタムシガ	ベンレート水和剤 アグロスリン水和剤	2,000倍 1,500倍	前日/6 前日/3	着色初期にミカンキロアザミウマ類発生園では、ディアナWDG5,000倍～10,000倍(前日/2)を加用する。
果皮障害対策	6月以後	バイカルティ(カルシウム肥料)	1,000倍	—/3	落花後以降の使用

標準施肥例

施肥時期	施肥時期			10a当り成分量(kg)			備考
	N	P	K	16.8	8.4	8.4	
1~3月	土壤改良 苦土セルカフミン 120kg	エコレット266 (12-6-6) 40kg	エコレット266 (12-6-6) 100kg				樹勢に応じて施肥する。 土壤改良は毎年励行しよう。
3月上旬							
9月下旬～10月中旬							

※土壤改良として、完熟堆肥2,000kg、または、新ふりかけ堆肥eco200kgを施用。

梅(南高)

古城・小梅は収穫前日数に注意!

防除時期	対象病害虫名	防除薬剤名	使用倍数	使用基準	備考

</tbl_r